

かぎ針編みのパンジー

Granny's Crochet Pansy

© Dedri Uys 2014. All Rights Reserved.

Edited by Venetia Smith. Tested by Venetia Smith, Beth Spaulding and Kimberly Slifer

Japanese translation by Masako Kawahara (VJ_1_20220119)



材料

- 並太または合太糸 3〜4色
- かぎ針 7/0号 (4mm)
- とじ針

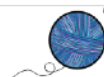
略語 (アメリカ式)

日本語版では略語は使っていません。英文のレシピを読むときなどの参考にしてください。

- **Beg** - 編みはじめ
- **Ch** - 鎖編み
- **Dc** - 長編み
- **Hdc** - 中長編み
- **Sc** - 細編み
- **Sl st** - 引き抜き編み
- **Sp/sps** - 鎖編みでできるスペース
- **St/sts** - 目
- **Tr** - 長々編み

区切り記号

- 大括弧 [] ひとつの目や鎖編みスペースに対して [] 内に書かれた目を編みます。
- *と括弧 () 繰り返しを表します。*と*の間に書かれた指示や () 内の指示を、指定された回数分繰り返します。



特別な編み方

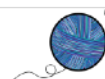
三ツ巻長編み Double treble crochet (Dtr): かぎ針に糸を3回かけて、指定された目に入れ、糸をかけて引き上げます。（糸をかけて、かぎ針にかかった2本のループを引き抜く）×4回。

小さな花びら: 鎖3目スペースに [中長編み1目、長編み1目、長々編み4目、長編み1目、中長編み1目] を編みます。

大きな花びら: 鎖3目スペースに [中長編み1目、長編み1目、長々編み2目、三ツ巻長編み3目、長々編み2目、長編み1目、中長編み1目] を編みます。

編み図記号

•	Sl st – Slip stitch 引き抜き編み		Dc – Double crochet 長編み
o	Ch – Chain 鎖編み		Tr – Treble crochet 長々編み
+	Sc – Single crochet 細編み		Dtr – Double treble crochet 三ツ巻長編み
T	Hdc – Half-double crochet 中長編み		



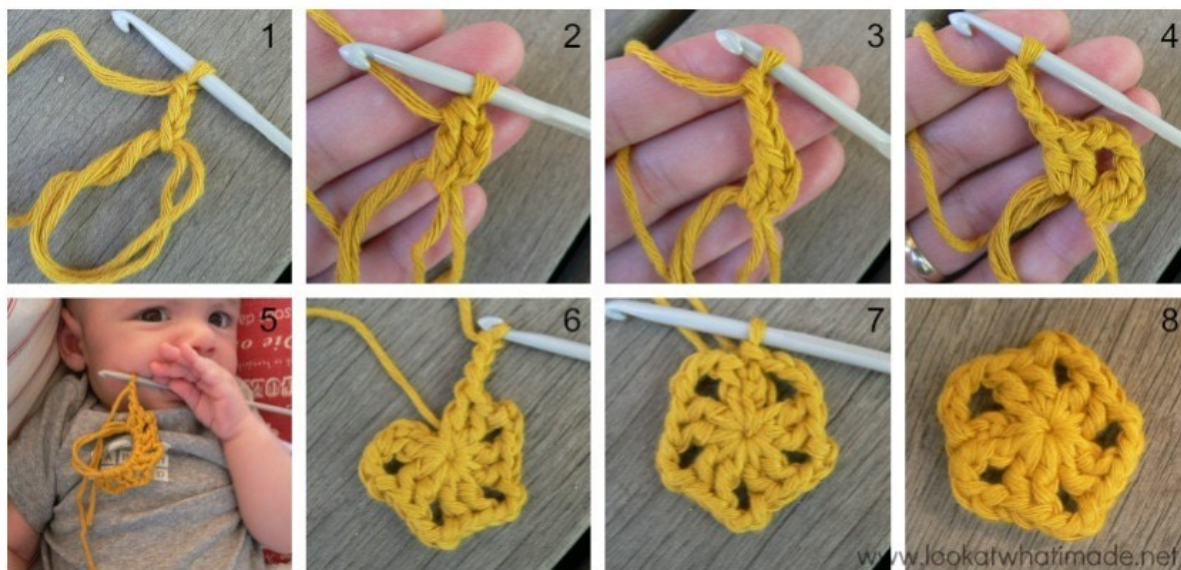
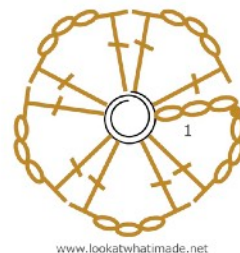
編み方

1段目

色Aでわに編み入れます。鎖3目（最初の長編み1目としてカウント - 写真1）、長編み1目[写真 2]、鎖3目[写真 3]。（長編み2目、鎖3目 - 写真 4）**×4回**。わの糸を引き、穴を小さくし[写真 6]、最初の鎖3目の頭に引き抜きます[写真 8]。糸を切り、糸端の始末をします[写真 8]。

写真5は撮影の手伝いをしてくれた甥のLucaくん

目数: 長編み10目、鎖3目スペース 5



2段目

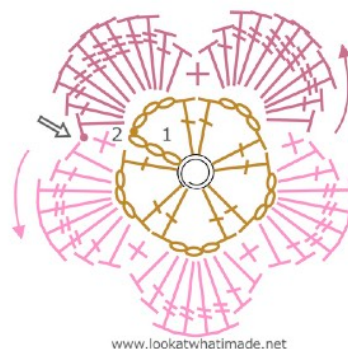
色Bの糸を使って、前段の長編み2目の間に、スタンディング細編みを編みます[写真 1]。（次の鎖3目スペースに**小さな花びら**[写真 2]、次の長編み2目の間に細編み1目[写真 3]）**×3回**。最後の細編みの糸を引き抜くところで、糸を色Cに替えます[写真 4]。

次の鎖3目スペースに**大きな花びら**[写真 5]、次の長編み2目の間に細編み1目[写真 6]、次の鎖3目スペースに**大きな花びら**を編みます。

最初の細編みに引き抜きます[写真 7]。鎖1目を編み、**編地を裏返します**。

次の段で色を替えるときは、鎖1目を新しい色の糸で編みます。

目数: 50 目／花びら5枚





3段目

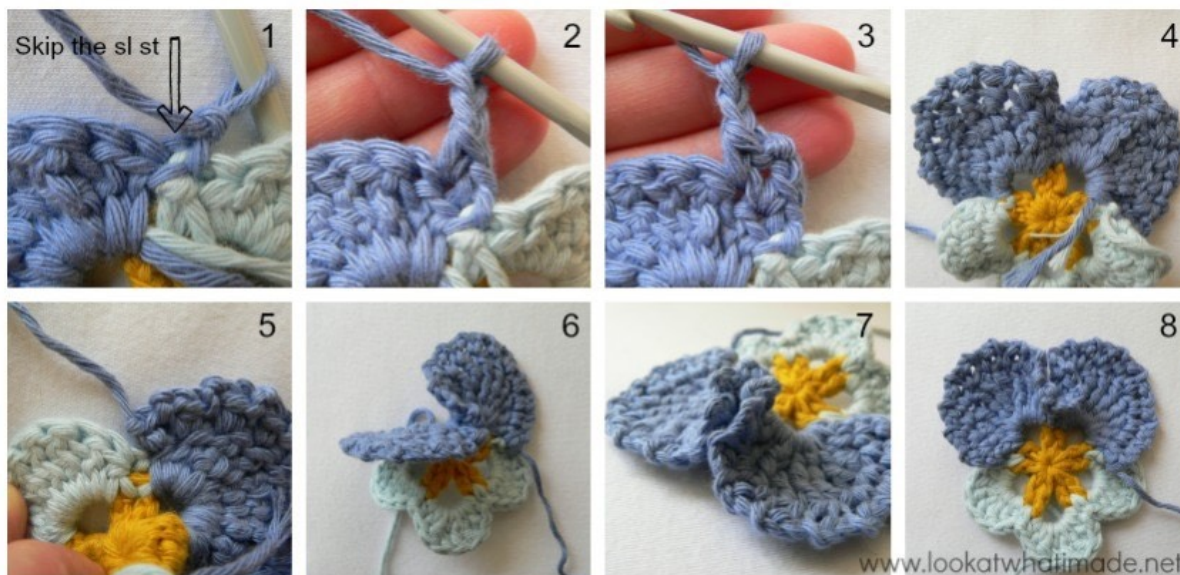
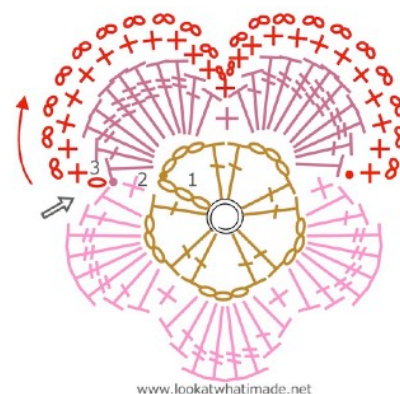
この段は、前段の**大きな花びら2枚**にのみ編みます。また、編地の裏側から編みます。

下の写真では、2段目と3段目を同じ色の糸で編んでいます。もしも、色を替えるときは、裏返す前の鎖1目で替えてください。

最初の引き抜き編みを飛ばします{写真1の矢印の目}。次の22目に（細編み1目、鎖2目）を繰り返します{写真2-4}。最後の目に細編み1目を編み、同じ目に引き抜きます。最後の目は色が替わる直前の目になります{写真5}。

糸を切り、糸端の始末をしてください。

目数: 細編み 23 目、鎖2目スペース 22



出来上がった大きな花びら2枚は、すこしおかしな形に見えるかもしれません。写真6 - 8のような形になるようにデザインしています。写真7のように花びら2枚が重なっています。使用する糸の太さや編み方のキツさによってかわりますが、この重なった部分はフリルのようになります。

花びらが硬すぎるときは、ゆったりめに編むか、かぎ針のサイズを大きくしてみてください。

